

## 保育士試験の各試験科目に係る出題範囲について

(保育士養成課程を構成する各教科目の目標及び教授内容の見直しに伴うもの)

- 本資料は、「保育士養成課程等の見直しについて（検討の整理）」（2017年12月4日 保育士養成課程等検討会）に基づく、見直し後の保育士試験の各試験科目に係る現時点で考えられる出題範囲を整理したものであり、見直し後の各試験科目に係る正式の出題範囲については、上記「検討の整理」を踏まえた関係省令の改正に併せて、2018年3月を目途に行う予定の「保育士試験の実施について（平成27年12月25日 厚生労働省雇用均等・児童家庭局長通知）」の改正において示されるため、変更があり得ることに留意。

(1) 保育原理	1
(2) 教育原理	8
(3) 社会的養護	10
(4) 子ども家庭福祉（現行：児童家庭福祉）	13
(5) 社会福祉	17
(6) 保育の心理学	19
(7) 子どもの保健	23
(8) 子どもの食と栄養	26
(9) 保育実習	28

(保育実習理論及び保育実習実技)

※ 本資料においては、各試験科目に係る見直し前後の出題範囲を併記するとともに、見直し後の各試験科目に係る出題範囲には、主な変更箇所を下線を付している。

見直し後	現行
<p style="text-align: center;">保育士試験出題範囲</p> <p><b>保育原理</b></p> <p>第1 出題の基本方針            保育の意義及び保育の内容や方法について体系的に理解しているかを問うことを基本とする。            問題選択に当たっては、保育所保育指針の内容や児童の保育及び保護者に対する保育に関する指導を担う保育士の役割と責務について、また、<u>子育て支援等を含む保育の社会的意義など、保育に関する現代的課題</u>に関しても配慮が必要である。</p> <p>第2 出題範囲</p> <p><u>1 保育原理</u></p> <p>(1) <u>保育の意義及び目的</u></p> <p>① 保育の理念と概念</p> <p>② <u>子どもの最善の利益と保育</u></p> <p>③ <u>子ども家庭福祉と保育</u></p> <p>④ 保育の社会的役割と責任</p> <p>(2) <u>保育に関する法令及び制度</u></p> <p>① <u>子ども家庭福祉の法体系における保育の位置付けと関</u></p>	<p style="text-align: center;">保育士試験出題範囲</p> <p><b>保育原理</b></p> <p>第1 出題の基本方針            保育の意義及び保育の内容や方法について体系的に理解しているかを問うことを基本とする。            問題選択に当たっては、保育所保育指針の内容や児童の保育と保護者支援を担う保育士の役割と責務について、また、保育相談支援や地域子育て支援等を含む保育の社会的意義など、保育を巡る現代的課題に関しても配慮が必要である。</p> <p>第2 出題範囲</p> <p>1 保育の意義</p> <p>(1) 保育の理念と概念</p> <p>(2) 児童の最善の利益を考慮した保育</p> <p>(3) 保護者との協働</p> <p>(4) 保育の社会的意義</p> <p>(5) 保育所保育と家庭的保育</p> <p>(6) 保育所保育指針の制度的位置づけ</p>

<p><u>係法令</u></p> <p>② <u>子ども・子育て支援新制度</u></p> <p>③ <u>保育の実施体系</u></p> <p>(3) <u>保育所保育指針における保育の基本</u></p> <p>① <u>保育所保育指針</u></p> <p>② <u>保育所保育に関する基本原則</u></p> <p>③ <u>保育における養護</u></p> <p>④ <u>保育の目標</u></p> <p>⑤ <u>保育の内容</u></p> <p>⑥ <u>保育の環境・方法</u></p> <p>⑦ <u>子どもの理解に基づく保育の過程(計画・実践・記録・省察・評価・改善)とその循環</u></p> <p>(4) <u>保育の思想と歴史の変遷</u></p> <p>① <u>諸外国の保育の思想と歴史</u></p> <p>② <u>日本の保育の思想と歴史</u></p> <p>(5) <u>保育の現状と課題</u></p> <p>① <u>諸外国の保育の現状</u></p> <p>② <u>日本の保育の現状と課題</u></p>	<p>2 保育所保育指針における保育の基本</p> <p>(1) 養護と教育の一体性</p> <p>(2) 環境を通して行う保育</p> <p>(3) 発達過程に応じた保育</p> <p>(4) 保護者との緊密な連携</p> <p>(5) 倫理観に裏付けられた保育士の専門性</p> <p>3 保育の目標と方法</p> <p>(1) 現在を最もよく生き、望ましい未来をつくりだす力の基礎を培う</p> <p>(2) 生活と遊びを通して総合的に行う保育</p> <p>(3) 保育における個と集団への配慮</p> <p>(4) 計画・実践・記録・評価の連動</p> <p>4 保育の思想と歴史の変遷</p> <p>(1) 諸外国の保育の思想と歴史</p> <p>(2) 日本の保育の思想と歴史</p> <p>5 保育の現状と課題</p> <p>(1) 諸外国の保育の現状と課題</p> <p>(2) 日本の保育の現状と課題</p>
---	--

## 2 乳児保育（※）

### (1) 乳児保育の意義・目的と役割

- ① 乳児保育の意義・目的と歴史的変遷
- ② 乳児保育の役割と機能
- ③ 乳児保育における養護及び教育

### (2) 乳児保育の現状と課題

- ① 乳児保育及び子育て家庭に対する支援をめぐる社会的状況と課題
- ② 保育所における乳児保育
- ③ 保育所以外の児童福祉施設（乳児院等）における乳児保育
- ④ 家庭的保育等における乳児保育
- ⑤ 3歳未満児とその家庭を取り巻く環境と子育て支援の場

### (3) 3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育

- ① 3歳未満児の生活と環境
- ② 3歳未満児の遊びと環境
- ③ 3歳以上児の保育に移行する時期の保育
- ④ 3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育士等による援助や関わり
- ⑤ 3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育における配慮
- ⑥ 乳児保育における計画・記録・評価とその意義

<p>(4) <u>乳児保育における連携・協働</u></p> <p>① <u>職員間の連携・協働</u></p> <p>② <u>保護者との連携・協働</u></p> <p>③ <u>自治体や地域の関係機関等との連携・協働</u></p> <p>(5) <u>乳児保育の基本</u></p> <p>① <u>子どもと保育士等との関係の重要性</u></p> <p>② <u>個々の子どもに応じた援助や受容的・応答的な関わり</u></p> <p>③ <u>子どもの主体性の尊重と自己の育ち</u></p> <p>④ <u>子どもの体験と学びの芽生え</u></p> <p>(6) <u>乳児保育における子どもの発育・発達を踏まえた生活と遊びの実際</u></p> <p>① <u>子どもの1日の生活の流れと保育の環境</u></p> <p>② <u>子どもの生活や遊びを支える環境の構成</u></p> <p>③ <u>3歳未満児の発育・発達を踏まえた生活と援助の実際</u></p> <p>④ <u>3歳未満児の発育・発達を踏まえた遊びと援助の実際</u></p> <p>⑤ <u>子ども同士の関わりとその援助の実際</u></p> <p>(7) <u>乳児保育における配慮の実際</u></p> <p>① <u>子どもの心身の健康・安全と情緒の安定を図るための配慮</u></p> <p>② <u>集団での生活における配慮</u></p> <p>③ <u>環境の変化や移行に対する配慮</u></p> <p>(8) <u>乳児保育における計画の実際</u></p> <p>① <u>長期的な指導計画と短期的な指導計画</u></p>	
---	--

② 個別的な指導計画と集団の指導計画

(※) 乳児保育に関する出題範囲については、3歳未満児を念頭においた保育に関するものとする。

3 障害児保育

(1) 障害児保育を支える理念

① 「障害」の概念と障害児保育の歴史的変遷

② 障害のある子どもの地域社会への参加・包容（インクルージョン）及び合理的配慮の理解と障害児保育の基本

(2) 障害児等の理解と保育における発達の援助

① 肢体不自由児の理解と援助

② 知的障害児の理解と援助

③ 視覚障害・聴覚障害・言語障害児等の理解と援助

④ 発達障害児の理解と援助 I（ADHD－注意欠陥多動性障害、LD－学習障害等）

⑤ 発達障害児の理解と援助 II（PDD－広汎性発達障害等）

⑥ 重症心身障害児、医療的ケア児の理解と援助

⑦ その他の特別な配慮を要する子どもの理解と援助

(3) 障害児その他の特別な配慮を要する子どもの保育の実際

① 指導計画及び個別の支援計画の作成

② 個々の発達を促す生活や遊びの環境

<p>③ <u>子ども同士の関わりと育ち合い</u></p> <p>④ <u>障害児保育における子どもの健康と安全</u></p> <p>⑤ <u>職員間の連携・協働</u></p> <p>(4) <u>家庭及び自治体・関係機関との連携</u></p> <p>① <u>保護者や家族に対する理解と支援</u></p> <p>② <u>保護者間の交流や支え合いの意義とその支援</u></p> <p>③ <u>障害児支援の制度の理解と地域における自治体や関係機関（保育所、児童発達支援センター等）の連携・協働</u></p> <p>④ <u>小学校等との連携</u></p> <p>(5) <u>障害児その他の特別な配慮を要する子どもの保育に関する現状と課題</u></p> <p>① <u>保健・医療における現状と課題</u></p> <p>② <u>福祉・教育における現状と課題</u></p> <p>③ <u>支援の場の広がりつつながり</u></p> <p>4 <u>子育て支援</u></p> <p>(1) <u>保育士の行う子育て支援の特性</u></p> <p>① <u>子どもの保育とともに行う保護者の支援</u></p> <p>② <u>日常的・継続的な関わりを通じた保護者との相互理解と信頼関係の形成</u></p> <p>③ <u>保護者や家庭の抱える支援のニーズへの気づきと多面的な理解</u></p>	
--	--

<p><u>④子ども・保護者が多様な他者と関わる機会や場の提供</u></p> <p><u>(2) 保育士の行う子育て支援の展開</u></p> <p><u>① 子ども及び保護者の状況・状態の把握</u></p> <p><u>② 支援の計画と環境の構成</u></p> <p><u>③ 支援の実践・記録・評価・カンファレンス</u></p> <p><u>④ 職員間の連携・協働</u></p> <p><u>⑤ 社会資源の活用と自治体・関係機関や専門職との連携・協働</u></p> <p><u>(3) 保育士の行う子育て支援とその実際(内容・方法・技術)</u></p> <p><u>① 保育所等における支援</u></p> <p><u>② 地域の子育て家庭に対する支援</u></p> <p><u>③ 障害のある子ども及びその家庭に対する支援</u></p> <p><u>④ 特別な配慮を要する子ども及びその家庭に対する支援</u></p> <p><u>⑤ 子ども虐待の予防と対応</u></p> <p><u>⑥ 要保護児童等の家庭に対する支援とその実際</u></p> <p><u>⑦ 多様な支援ニーズを抱える子育て家庭の理解とその支援</u></p>	
<p>第3 出題上の留意事項</p> <p>1 保育所保育指針の内容と保育の実際との関連を重視した出題が望ましい。</p>	<p>第3 出題上の留意点</p> <p>1 保育所保育指針の内容と保育の実際との関連を重視した出題が望ましい。</p> <p>2 保育士の役割や倫理、専門性等について理解しているかという点についても出題し、その場合には具体的事例を設</p>



- 2 教育原理、子ども家庭福祉、社会福祉、社会的養護の出題と十分関連をとって出題する。
- 3 出題範囲の見直しに伴う経過措置として、当分の間、保育原理の出題については、見直し前の出題範囲における保育相談支援の内容を理解していることを前提とした出題とする。

## 教育原理

### 第1 出題の基本方針

教育に関する基本的概念、教育における実践原理を体系的に理解しているかを問うことを基本とする。

問題選択に当たっては、教育の思想や制度について、また、子ども家庭福祉等との関連性や教育を巡る現代的課題に関しても配慮が必要である。

定して問う等工夫が必要である。

- 3 保育相談支援の内容等について理解しているかという点についても出題し、その場合には保育相談支援の意義と原則について具体的事例を設定して問う等工夫が必要である。
- 4 教育原理、児童家庭福祉、社会福祉、社会的養護の出題と十分関連をとって出題する。

## 教育原理

### 第1 出題の基本方針

教育に関する基本的概念、教育における実践原理を体系的に理解しているかを問うことを基本とする。

問題選択に当たっては、教育の思想や制度について、また、児童福祉等との関連性や教育を巡る現代的課題に関しても配慮が必要である。

<p>第2 出題範囲</p> <p>1. 教育の意義、目的及び<u>子ども</u>家庭福祉等との関連性</p> <p>(1) 教育の意義</p> <p>(2) 教育の目的</p> <p>(3) <u>乳幼児期の教育</u>の特性</p> <p>(4) 教育と<u>子ども</u>家庭福祉の関連性</p> <p>(5) 人間形成と家庭・地域・社会等との関連性</p> <p>2. 教育の思想と歴史的変遷</p> <p>(1) 諸外国の教育の思想と歴史</p> <p>(2) 日本の教育の思想と歴史</p> <p>(3) <u>子ども</u>観と教育観の変遷</p> <p>3. 教育の制度</p> <p>(1) 教育制度の基礎</p> <p>(2) 教育法規・教育行政の基礎</p> <p>(3) 諸外国の教育制度</p> <p>4. 教育の実践</p> <p>(1) 教育実践の基礎理論（内容・方法・計画と評価）</p> <p>(2) 教育実践の多様な取り組み</p> <p>5. 生涯学習社会における教育の現状と課題</p> <p>(1) 生涯学習社会と教育</p> <p>(2) 現代の教育課題</p>	<p>第2 出題範囲</p> <p>1 教育の意義、目的及び<u>児童</u>福祉等との関連性</p> <p>(1) 教育の意義</p> <p>(2) 教育の目的</p> <p>(3) 教育と<u>児童</u>福祉の関連性</p> <p>(4) 人間形成と家庭・地域・社会等との関連性</p> <p>2 教育の思想と歴史的変遷</p> <p>(1) 諸外国の教育思想と歴史</p> <p>(2) 日本の教育思想と歴史</p> <p>(3) <u>児童</u>観と教育観の変遷</p> <p>3 教育の制度</p> <p>(1) 教育制度の基礎</p> <p>(2) 教育法規・教育行政の基礎</p> <p>(3) 諸外国の教育制度</p> <p>4 教育の実践</p> <p>(1) 教育実践の基礎理論—内容、方法、計画と評価—</p> <p>(2) 教育実践の多様な取り組み</p> <p>5 生涯学習社会における教育の現状と課題</p> <p>(1) 生涯学習社会と教育</p> <p>(2) 現代の教育課題</p>
---	--

### 第3 出題上の留意事項

- 1 教育と保育の実際との関連を重視した出題が望ましい。
- 2 保育原理、子ども家庭福祉、社会的養護の出題と十分関連をとって出題する。

### 社会的養護

#### 第1 出題の基本方針

現代社会における社会的養護の意義と役割について体系的に理解しているかを問うことを基本とする。

問題選択に当たっては、社会的養護の理念・制度の体系を概括的に理解しているかという点のほか、子ども及び社会的養護を取り巻く状況や家庭養護、施設養護の援助の実際について、また、保育との関連性や社会的養護に関する現代的課題に関しても配慮が必要である。

#### 第2 出題範囲

- 1 現代社会における社会的養護の意義と歴史的変遷
  - (1) 社会的養護の理念と概念
  - (2) 社会的養護の歴史的変遷
- 2 社会的養護の基本

### 第3 出題上の留意事項

- 1 教育と保育の実際との関連を重視した出題が望ましい。
- 2 保育原理、児童家庭福祉、社会的養護の出題と十分関連をとって出題する。

### 社会的養護

#### 第1 出題の基本方針

現代社会における社会的養護の意義と役割について体系的に理解しているかを問うことを基本とする。

問題選択に当たっては、社会的養護の理念・制度の体系を概括的に理解しているかという点のほか、児童及び社会的養護を取りまく状況や家庭的養護、施設養護の援助の実際について、また、保育との関連性や社会的養護を巡る現代的課題に関しても配慮が必要である。

#### 第2 出題範囲

- 1 現代社会における社会的養護の意義と歴史的変遷
  - (1) 社会的養護の理念と概念
  - (2) 社会的養護の歴史的変遷
- 2 社会的養護と児童家庭福祉

<p>(1) <u>子どもの人権擁護と社会的養護</u></p> <p>(2) <u>社会的養護の基本原則</u></p> <p>(3) <u>社会的養護における保育士等の倫理と責務</u></p> <p>3. 社会的養護の制度と実施体系</p> <p>(1) 社会的養護の制度と法体系</p> <p>(2) 社会的養護の仕組みと実施体系</p> <p>4. 社会的養護の対象・形態・専門職</p> <p>(1) <u>社会的養護の対象</u></p> <p>(2) <u>家庭養護と施設養護</u></p> <p>(3) <u>社会的養護に関わる専門職</u></p> <p>5. 社会的養護の現状と課題</p> <p>(1) <u>社会的養護に関する社会的状況</u></p> <p>(2) 施設等の運営管理</p> <p>(3) 被措置児童等の虐待防止</p> <p>(4) 社会的養護と地域福祉</p> <p>6. <u>社会的養護の内容</u></p> <p>(1) <u>社会的養護における子どもの理解</u></p>	<p>(1) 児童家庭福祉の一分野としての社会的養護</p> <p>(2) 児童の権利擁護と社会的養護</p> <p>3 社会的養護の制度と実施体系</p> <p>(1) 社会的養護の制度と法体系</p> <p>(2) 社会的養護の仕組みと実施体系</p> <p>(3) 家庭的養護と施設養護</p> <p>(4) 社会的養護の専門職・実施者</p> <p>4 施設養護の実際</p> <p>(1) 施設養護の基本原理</p> <p>(2) 施設養護の実際－日常生活支援、治療的支援、自己実現・自立支援等－</p> <p>(3) 施設養護とソーシャルワーク</p> <p>5 社会的養護の現状と課題</p> <p>(1) 施設等の運営管理</p> <p>(2) 倫理の確立</p> <p>(3) 被措置児童等の虐待防止</p> <p>(4) 社会的養護と地域福祉</p>
---	---

<p>(2) <u>日常生活支援</u>  (3) <u>治療的支援</u>  (4) <u>自立支援</u>  7. <u>社会的養護の実際</u>  (1) <u>施設養護の生活特性及び実際</u>  (2) <u>家庭養護の生活特性及び実際</u>  8. <u>社会的養護における支援の計画と記録及び自己評価</u>  (1) <u>アセスメントと個別支援計画の作成</u>  (2) <u>記録及び自己評価</u>  9. <u>社会的養護に関わる専門的技術</u>  (1) <u>保育の専門性に関わる知識・技術とその実践</u>  (2) <u>社会的養護に関わる相談援助の知識・技術とその実践</u>  10. <u>今後の課題と展望</u>  (1) <u>社会的養護における家庭支援</u>  (2) <u>社会的養護の課題と展望</u></p> <p>第3 出題上の留意事項</p> <p>1 <u>社会的養護の制度</u>や<u>歴史的変遷の部分</u>からは、歴史的に古いものや現在の制度体系と関連のないものは出題しない。</p> <p>2 <u>保育原理</u>、<u>子ども家庭福祉</u>、<u>社会福祉</u>の出題と十分関連をとって出題する。</p>	<p>第3 出題上の留意事項</p> <p>1 <u>社会福祉の法律や手続き</u>、<u>歴史的変遷の部分</u>からは、歴史的にあまり古いものや現在の制度体系と関連のないものは出題しない。</p> <p>2 <u>保育原理</u>、<u>児童家庭福祉</u>、<u>社会福祉</u>の出題と十分関連をとって出題する。</p>
---	--

## 子ども家庭福祉

### 第1 出題の基本方針

現代社会における子ども家庭福祉の意義と役割について体系的に理解しているかを問うことを基本とする。

問題選択に当たっては、子ども家庭福祉の理念・制度の体系を概括的に理解しているかという点のほか、児童及び家庭を取り巻く状況や子ども家庭福祉の実際について、また、保育との関連性や子ども家庭福祉に関する現代的課題に関しても配慮が必要である。

### 第2 出題範囲

#### 1 子ども家庭福祉

(1) 現代社会における子ども家庭福祉の意義と歴史的変遷

- ① 子ども家庭福祉の理念と概念
- ② 子ども家庭福祉の歴史的変遷
- ③ 現代社会と子ども家庭福祉

(2) 子どもの人権擁護

- ① 子どもの人権擁護の歴史的変遷
- ② 児童の権利に関する条約
- ③ 子どもの人権擁護と現代社会における課題

(3) 子ども家庭福祉の制度と実施体系

## 児童家庭福祉

### 第1 出題の基本方針

現代社会における児童家庭福祉の意義と役割について体系的に理解しているかを問うことを基本とする。

問題選択に当たっては、児童家庭福祉の理念・制度の体系を概括的に理解しているかという点のほか、児童及び家庭をとりまく状況や児童家庭福祉の実際について、また、保育との関連性や児童家庭福祉を巡る現代的課題に関しても配慮が必要である。

### 第2 出題範囲

1 現代社会における児童家庭福祉の意義と歴史的変遷

- (1) 児童家庭福祉の理念と概念
- (2) 児童家庭福祉の歴史的変遷
- (3) 現代社会と児童家庭福祉

2 児童家庭福祉と保育

- (1) 児童家庭福祉の一分野としての保育
- (2) 児童の人権擁護と児童家庭福祉

3 児童家庭福祉の制度と実施体系

<ul style="list-style-type: none"> <li>① <u>子ども家庭福祉の制度と法体系</u></li> <li>② <u>子ども家庭福祉の実施体系</u></li> <li>③ <u>児童福祉施設</u></li> <li>④ <u>子ども家庭福祉の専門職</u></li> <li>(4) <u>子ども家庭福祉の現状と課題</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>① <u>少子化と地域子育て支援</u></li> <li>② <u>母子保健と子どもの健全育成</u></li> <li>③ <u>多様な保育ニーズへの対応</u></li> <li>④ <u>子ども虐待・DV（ドメスティックバイオレンス）とその防止</u></li> <li>⑤ <u>社会的養護</u></li> <li>⑥ <u>障害のある子どもへの対応</u></li> <li>⑦ <u>少年非行等への対応</u></li> <li>⑧ <u>貧困家庭、外国籍の子どもとその家庭への対応</u></li> </ul> </li> <li>(5) <u>子ども家庭福祉の動向と展望</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>① <u>次世代育成支援と子ども家庭福祉の推進</u></li> <li>② <u>地域における連携・協働とネットワーク</u></li> <li>③ <u>諸外国の動向</u></li> </ul> </li> </ul> <p>2 <u>子ども家庭支援論</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) <u>子ども家庭支援の意義と役割</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>① <u>子ども家庭支援の意義と必要性</u></li> <li>② <u>子ども家庭支援の目的と機能</u></li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 児童家庭福祉の制度と法体系</li> <li>(2) 児童家庭福祉行財政と実施機関</li> <li>(3) 児童福祉施設等</li> <li>(4) 児童家庭福祉の専門職・実施者</li> </ul> <p>4 児童家庭福祉の現状と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 少子化と子育て支援サービス</li> <li>(2) 母子保健と児童の健全育成</li> <li>(3) 多様な保育ニーズへの対応</li> <li>(4) 児童虐待防止・ドメスティックバイオレンス</li> <li>(5) 社会的養護</li> <li>(6) 障害のある児童への対応</li> <li>(7) 少年非行等への対応</li> </ul> <p>5 児童家庭福祉の動向と展望</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 次世代育成支援と児童家庭福祉の推進</li> <li>(2) 保育・教育・療育・保健・医療等との連携とネットワーク</li> <li>(3) 諸外国の動向</li> </ul>
--	---

<p>(2) <u>保育士による子ども家庭支援の意義と基本</u></p> <p>① <u>保育の専門性を活かした子ども家庭支援とその意義</u></p> <p>② <u>子どもの育ちの喜びの共有</u></p> <p>③ <u>保護者及び地域が有する子育てを自ら実践する力の向上に資する支援</u></p> <p>④ <u>保育士に求められる基本的態度（受容的関わり・自己決定の尊重・秘密保持等）</u></p> <p>⑤ <u>家庭の状況に応じた支援</u></p> <p>⑥ <u>地域の資源の活用と自治体・関係機関等との連携・協力</u></p> <p>(3) <u>子育て家庭に対する支援の体制</u></p> <p>① <u>子育て家庭の福祉を図るための社会資源</u></p> <p>② <u>子育て支援施策・次世代育成支援施策の推進</u></p> <p>(4) <u>多様な支援の展開と関係機関との連携</u></p> <p>① <u>子ども家庭支援の内容と対象</u></p> <p>② <u>保育所等を利用する子どもの家庭への支援</u></p> <p>③ <u>地域の子育て家庭への支援</u></p> <p>④ <u>要保護児童等及びその家庭に対する支援</u></p> <p>⑤ <u>子ども家庭支援に関する現状と課題</u></p>	
---	--



第3 出題上の留意事項

- 1 子どもの人権擁護や子ども家庭福祉に関する現代的課題等について理解しているかという点についても出題し、その場合には具体的事例を設定して問う等工夫が必要である。
- 2 子ども家庭福祉の歴史的変遷の部分からは、歴史的に古いものや現在の制度体系と関連のないものは出題しない。
- 3 保育原理、社会福祉、社会的養護の出題の内容と十分関連をとって出題する。
- 4 出題範囲の見直しに伴う経過措置として、当分の間、子ども家庭福祉の出題については、見直し前の出題範囲となっている内容を理解していることを前提とした出題とする。

第3 出題上の留意事項

- 1 児童の人権擁護や児童家庭福祉に係る今日的課題等について理解しているかという点についても出題し、その場合には具体的事例を設定して問う等工夫が必要である。
- 2 児童家庭福祉の歴史的変遷の部分からは、歴史的にあまり古いものや現在の制度体系と関連のないものは出題しない。
- 3 保育原理、社会福祉、社会的養護の出題及び保育相談支援の内容と十分関連をとって出題する。

## 社会福祉

### 第1 出題の基本方針

社会福祉全般に関して、その理念・体系を理解しているかを問うことを基本とする。

問題選択に当たっては、社会福祉の理念・制度の体系を概括的に理解しているかという点のほか、その背景となっている社会の動向、社会保障等の関連制度の概要、利用者の保護に関わる仕組みや相談援助等について、また、子ども家庭福祉との関連性や社会福祉に関する現代的課題に関しても配慮が必要である。

### 第2 出題範囲

#### 1. 現代社会における社会福祉の意義と歴史的変遷

- (1) 社会福祉の理念と概念
- (2) 社会福祉の歴史的変遷
- (3) 子ども家庭支援と社会福祉

## 社会福祉

### 第1 出題の基本方針

社会福祉全般に関して、その理念体系を理解しているかを問うことを基本とする。

問題選択に当たっては、社会福祉の理念・制度の体系を概括的に理解しているかという点のほか、その背景となっている社会の動向、社会保障等の関連制度の概要、利用者の保護にかかわる仕組みや相談援助等について、また、児童家庭福祉との関連性や社会福祉を巡る現代的課題に関しても配慮が必要である。

### 第2 出題範囲

#### 1 現代社会における社会福祉の意義と歴史的変遷

- (1) 社会福祉の理念と概念
- (2) 社会福祉の歴史的変遷

#### 2 社会福祉と児童家庭福祉

- (1) 社会福祉の一分野としての児童家庭福祉
- (2) 児童の人権擁護と社会福祉
- (3) 家庭支援と社会福祉

<p>2. 社会福祉の制度と実施体系</p> <p>(1) 社会福祉の制度と法体系</p> <p>(2) 社会福祉行財政と実施機関</p> <p>(3) 社会福祉施設</p> <p>(4) 社会福祉の専門職</p> <p>(5) 社会保障及び関連制度の概要</p> <p>3. 社会福祉における相談援助</p> <p><u>(1) 相談援助の理論</u></p> <p>(2) 相談援助の意義と機能</p> <p><u>(3) 相談援助の対象と過程</u></p> <p>(4) 相談援助の方法と技術</p> <p>4. 社会福祉における利用者の保護に関わる仕組み</p> <p>(1) 情報提供と第三者評価</p> <p>(2) 利用者の権利擁護と苦情解決</p> <p>5. 社会福祉の動向と課題</p> <p>(1) 少子高齢化社会における子育て支援</p> <p><u>(2) 共生社会の実現と障害者施策</u></p> <p>(3) 在宅福祉・地域福祉の推進</p> <p>(4) 諸外国の動向</p>	<p>3 社会福祉の制度と実施体系</p> <p>(1) 社会福祉の制度と法体系</p> <p>(2) 社会福祉行財政と実施機関</p> <p>(3) 社会福祉施設等</p> <p>(4) 社会福祉の専門職・実施者</p> <p>(5) 社会保障及び関連制度の概要</p> <p>4 社会福祉における相談援助</p> <p>(1) 相談援助の意義と原則</p> <p>(2) 相談援助の方法と技術</p> <p>5 社会福祉における利用者の保護にかかわる仕組み</p> <p>(1) 情報提供と第三者評価</p> <p>(2) 利用者の権利擁護と苦情解決</p> <p>6 社会福祉の動向と課題</p> <p>(1) 少子高齢化社会への対応</p> <p>(2) 在宅福祉・地域福祉の推進</p> <p>(3) 保育・教育・療育・保健・医療等との連携とネットワーク</p> <p>(4) 諸外国の動向</p>
--	--

<p>第3 出題上の留意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 社会福祉の法律や手続き、歴史的変遷の部分からは、歴史的に古いものや現在の制度体系と関連のないものは出題しない。</li> <li>2 保育原理、<u>子ども家庭福祉</u>、社会的養護の出題と十分関連をとって出題する。</li> <li>3 <u>出題範囲の見直しに伴う経過措置として、当分の間、社会福祉の出題については、見直し前の出題範囲における相談援助の内容を理解していることを前提とした出題とする。</u></li> </ol>	<p>第3 出題上の留意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 社会福祉の法律や手続き、歴史的変遷の部分からは、歴史的にあまり古いものや現在の制度体系と関連のないものは出題しない。</li> <li>2 社会福祉に係る相談援助の内容等について理解しているかという点についても出題し、その場合には相談援助の意義と原則について具体的事例を設定して問う等工夫が必要である。</li> <li>3 保育原理、児童家庭福祉、社会的養護の出題と十分関連をとって出題する。</li> </ol>
<p>保育の心理学</p> <p>第1 出題の基本方針</p> <p>保育実践に関わる心理学の知識や発達の基本原則について体系的に理解しているかを問うことを基本とする。</p> <p>問題選択に当たっては、子どもの発達過程における心理や発達の特徴を理解しているかという点のほか、生活と遊びを</p>	<p>保育の心理学</p> <p>第1 出題の基本方針</p> <p>保育実践にかかわる心理学の知識や発達の基本原則について体系的に理解しているかを問うことを基本とする。</p> <p>問題選択に当たっては、子どもの発達過程における心理や発達の特徴を理解しているかという点のほか、生活と遊びを</p>

通して学ぶ子どもの経験や学習の過程について、また、保育における発達援助や家庭の理解、子どもの発達に関する現代的課題に関しても配慮が必要である。

## 第2 出題範囲

### 1 保育の心理学

#### (1) 発達を捉える視点

- ① 子どもの発達を理解することの意義
- ② 子どもの発達と環境
- ③ 発達理論と子ども観・保育観

#### (2) 子どもの発達過程

- ① 社会情動的発達
- ② 身体的機能と運動機能の発達
- ③ 認知の発達
- ④ 言語の発達

#### (3) 子どもの学びと保育

- ① 乳幼児期の学びに関わる理論
- ② 乳幼児期の学びの過程と特性
- ③ 乳幼児期の学びを支える保育

### 2 子ども家庭支援の心理学

#### (1) 生涯発達

- ① 乳幼児期から学童期前期にかけての発達

通して学ぶ子どもの経験や学習の過程について、また、保育における発達援助や子どもの発達を巡る現代的課題に関しても配慮が必要である。

## 第2 出題範囲

### 1 保育と心理学

- (1) 子どもの発達を理解することの意義
- (2) 保育実践の評価と心理学

#### (3) 発達観、子ども観と保育観

### 2 子どもの発達理解

- (1) 子どもの発達と環境
- (2) 感情の発達と自我
- (3) 身体的機能と運動機能の発達
- (4) 知覚と認知の発達
- (5) 言葉の発達と社会性

### 3 人との相互的かかわりと子どもの発達

- (1) 基本的信頼感の獲得
- (2) 他者とのかかわり
- (3) 社会的相互作用

### 4 生涯発達と初期経験の重要性

- (1) 生涯発達と発達援助
- (2) 胎児期及び新生児期の発達

<ul style="list-style-type: none"> <li>② <u>学童期後期から青年期にかけての発達</u></li> <li>③ <u>成人期・老年期における発達</u></li> <li>(2) <u>家族・家庭の理解</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>① <u>家族・家庭の意義と機能</u></li> <li>② <u>親子関係・家族関係の理解</u></li> <li>③ <u>子育ての経験と親としての育ち</u></li> </ul> </li> <li>(3) <u>子育て家庭に関する現状と課題</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>① <u>子育てを取り巻く社会的状況</u></li> <li>② <u>ライフコースと仕事・子育て</u></li> <li>③ <u>多様な家庭とその理解</u></li> <li>④ <u>特別な配慮を要する家庭</u></li> </ul> </li> <li>(4) <u>子どもの精神保健とその課題</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>① <u>子どもの生活・生育環境とその影響</u></li> <li>② <u>子どもの心の健康に関わる問題</u></li> </ul> </li> </ul> <p>3 <u>子どもの理解と援助</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) <u>子どもの実態に応じた発達や学びの把握</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>① <u>保育における子どもの理解の意義</u></li> <li>② <u>子どもの理解に基づく養護及び教育の一体的展開</u></li> <li>③ <u>子どもに対する共感的理解と子どもとの関わり</u></li> </ul> </li> <li>(2) <u>子どもを理解する視点</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>① <u>子どもの生活や遊び</u></li> <li>② <u>保育の人的環境としての保育者と子どもの発達</u></li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(3) <u>乳幼児期の発達</u></li> <li>(4) <u>学童期から青年期の発達</u></li> <li>(5) <u>成人期、老年期の発達</u></li> </ul> <p>5 <u>子どもの発達と保育実践</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) <u>子ども理解における発達の把握</u></li> <li>(2) <u>個人差や発達過程に応じた保育</u></li> <li>(3) <u>身体感覚を伴う多様な経験と環境との相互作用</u></li> <li>(4) <u>環境としての保育者と子どもの発達</u></li> <li>(5) <u>子ども相互のかかわりと関係作り</u></li> <li>(6) <u>自己主張と自己統制</u></li> <li>(7) <u>子ども集団と保育の環境</u></li> </ul> <p>6 <u>生活や遊びを通じた学びの過程</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) <u>子どもの生活と学び</u></li> <li>(2) <u>子どもの遊びと学び</u></li> <li>(3) <u>生涯にわたる生きる力の基礎を培う</u></li> </ul> <p>7 <u>保育における発達援助</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) <u>基本的な生活習慣の獲得と発達援助</u></li> <li>(2) <u>自己の主体性の形成と発達援助</u></li> <li>(3) <u>発達課題に応じたかかわりと援助</u></li> <li>(4) <u>発達の連続性と就学への支援</u></li> <li>(5) <u>発達援助における協働</u></li> <li>(6) <u>現代社会における子どもの発達と保育の課題</u></li> </ul>
---	--

<p>③ <u>子ども相互の関わりと関係づくり</u></p> <p>④ <u>集団における経験と育ち</u></p> <p>⑤ <u>葛藤やつまずき</u></p> <p>⑥ <u>保育の環境の理解と構成</u></p> <p>⑦ <u>環境の変化や移行</u></p> <p>(3) <u>子どもを理解する方法</u></p> <p>① <u>観察</u></p> <p>② <u>記録</u></p> <p>③ <u>省察・評価</u></p> <p>④ <u>職員間の対話</u></p> <p>⑤ <u>保護者との情報の共有</u></p> <p>(4) <u>子どもの理解に基づく発達援助</u></p> <p>① <u>発達の課題に応じた援助と関わり</u></p> <p>② <u>特別な配慮を要する子どもの理解と援助</u></p> <p>③ <u>発達の連続性と就学への支援</u></p> <p>第3 出題上の留意事項</p> <p>1 児童の発達過程及び発達の特性について正しく理解し、保育（養護と教育）との関連において把握することを主眼として出題する。</p> <p>2 児童の発達課題や初期経験の重要性等、保育の実際において役立つような知識についても問わなければならない。</p> <p>3 保育原理、子ども家庭福祉、子どもの保健の出題と十分</p>	<p>第3 出題上の留意事項</p> <p>1 児童の発達過程及び発達の特性について正しく理解し、保育（養護と教育）との関連において把握することを主眼として出題する。</p> <p>2 児童の発達課題や初期経験の重要性等、保育の実際において役立つような知識についても問わなければならない。</p> <p>3 保育原理、児童家庭福祉、児童の保健の出題と十分関連</p>
---	---

<p>関連をとって出題する。</p> <p><b>子どもの保健</b></p> <p>第1 出題の基本方針</p> <p>児童の健康と安全に係る基本的知識と保育実践に係る児童の疾病とその予防及び事故防止と安全管理等についての理解を問うことを基本とする。</p> <p>問題選択に当たっては、児童の健康増進を図る保健活動の意義や保育における環境及び衛生管理並びに安全管理について理解しているかという点のほか、母子保健対策や他職種との連携等に関しても配慮が必要である。</p> <p>第2 出題範囲</p> <p>1 <u>子どもの保健</u></p> <p>(1) <u>子どもの心身の健康と保健の意義</u></p> <p>① 生命の保持と情緒の安定に係る保健活動の意義と目的</p> <p>② 健康の概念と健康指標</p> <p>③ <u>現代社会における子どもの健康に関する現状と課題</u></p>	<p>をとって出題する。</p> <p><b>子どもの保健</b></p> <p>第1 出題の基本方針</p> <p>児童の心身の健康と安全に係る基本的知識と保育実践に係る児童の疾病とその予防及び事故防止と安全管理等についての理解を問うことを基本とする。</p> <p>問題選択に当たっては、児童の健康増進を図る保健活動の意義や保育における環境及び衛生管理並びに安全管理について理解しているかという点のほか、児童の身体面のみならず心の健康についての理解や母子保健対策、他職種との連携等に関しても配慮が必要である。</p> <p>第2 出題範囲</p> <p>1 <u>子どもの健康と保健の意義</u></p> <p>(1) 生命の保持と情緒の安定に係る保健活動の意義と目的</p> <p>(2) 健康の概念と健康指標</p>
--	--



<p>④ 地域における保健活動と子ども虐待防止</p> <p><u>(2) 子どもの身体的発育・発達と保健</u></p> <p>① 身体発育及び運動機能の発達と保健</p> <p>② 生理機能の発達と保健</p> <p><u>(3) 子どもの心身の健康状態とその把握</u></p> <p>① 健康状態の観察</p> <p>② 心身の不調等の早期発見</p> <p>③ 発育・発達の把握と健康診断</p> <p>④ 保護者との情報共有</p> <p><u>(4) 子どもの疾病の予防及び適切な対応</u></p> <p>① 主な疾病の特徴</p> <p>② 子どもの疾病の予防と適切な対応</p> <p><u>2 子どもの健康と安全</u></p> <p><u>(1) 保健的観点を踏まえた保育環境及び援助</u></p> <p>① 子どもの健康と保育の環境</p> <p>② 子どもの保健に関する個別対応と集団全体の健康及び安全の管理</p> <p><u>(2) 保育における健康及び安全の管理</u></p> <p>① 衛生管理</p> <p>② 事故防止及び安全対策</p> <p>③ 危機管理</p>	<p>(3) 地域における保健活動と児童虐待防止</p> <p>2 子どもの発育・発達と保健</p> <p>(1) 生物としてのヒトの成り立ち</p> <p>(2) 身体発育と保健</p> <p>(3) 生理機能の発達と保健</p> <p>(4) 運動機能の発達と保健</p> <p>(5) 精神機能の発達と保健</p> <p>3 子どもの疾病と保育</p> <p>(1) 子どもの健康状態の把握と主な疾病の特徴</p> <p>(2) 子どもの疾病の予防と適切な対応</p> <p>4 子どもの精神保健</p> <p>(1) 子どもの生活環境と精神保健</p> <p>(2) 子どもの心の健康とその課題</p> <p>5 環境及び衛生管理並びに安全管理</p> <p>(1) 保育環境整備と保健</p> <p>(2) 保育現場における衛生管理</p> <p>(3) 保育現場における事故防止及び安全対策並びに危機管理</p> <p>6 健康及び安全の実施体制</p> <p>(1) 職員間の連携と組織的取組</p>
---	---

<p>④ <u>災害への備え</u></p> <p>(3) <u>子どもの体調不良等に対する適切な対応</u></p> <p>① <u>体調不良や傷害が発生した場合の対応</u></p> <p>② <u>応急処置</u></p> <p>③ <u>救急処置及び救急蘇生法</u></p> <p>(4) <u>感染症対策</u></p> <p>① <u>感染症の集団発生の予防</u></p> <p>② <u>感染症発生時と罹患後の対応</u></p> <p>(5) <u>保育における保健的対応</u></p> <p>① <u>保育における保健的対応の基本的な考え方</u></p> <p>② <u>3歳未満児への対応</u></p> <p>③ <u>個別的な配慮を要する子どもへの対応（慢性疾患、アレルギー性疾患等）</u></p> <p>④ <u>障害のある子どもへの対応</u></p> <p>(6) <u>健康及び安全の管理の実施体制</u></p> <p>① <u>職員間の連携・協働と組織的取組</u></p> <p>② <u>保育における保健活動の計画及び評価</u></p> <p>③ <u>母子保健・地域保健における自治体との連携</u></p> <p>④ <u>家庭、専門機関、地域の関係機関等との連携</u></p>	<p>(2) 母子保健対策と保育</p> <p>(3) 家庭・専門機関・地域との連携</p> <p>7 保健活動の計画及び評価</p> <p>(1) 保健計画の作成と活用</p> <p>(2) 保健活動の記録と自己評価</p> <p>(3) 子どもの保健に係る個別対応と子ども集団全体の健康と安全・衛生管理</p>
<p>第3 出題上の留意事項</p> <p>1 <u>子どもの疾病や事故等の予防や適切な対応について、保育の実際において起こりうる事項に関して出題すること</u></p>	<p>第3 出題上の留意事項</p> <p>1 児童の疾病や事故等の予防や適切な対応について、保育の実際において起こりうる事項に関して出題することが</p>

が望ましい。

- 2 一人一人の子どもの保健とともに、集団の場における保健的対応や対策についても問わなければならない。
- 3 保育の心理学、子どもの食と栄養の出題と十分関連をとって出題する。
- 4 出題範囲の見直しに伴う経過措置として、当分の間、子どもの保健の出題については、見直し前の出題範囲となっている内容を理解していることを前提とした出題とする。

## 子どもの食と栄養

### 第1 出題の基本方針

児童の食生活や栄養に関する基本的知識と保育実践に係る食育の基本と内容についての理解を問うことを基本とする。

問題選択に当たっては、児童の健康な生活の基本としての食生活の意義や栄養の基本的概念や調理の基本、年齢や発達過程における食生活について理解しているかという点のほか、食に係る特別な配慮を有する児童への対応や食を通じた保護者への支援、現代社会における食生活の課題に関しても配慮が必要である。

望ましい。

- 2 一人一人の児童の保健とともに、集団の場における保健的対応や対策についても問わなければならない。
- 3 保育の心理学、児童の食と栄養の出題と十分関連をとって出題する。

## 子どもの食と栄養

### 第1 出題の基本方針

児童の食生活や栄養に関する基本的知識と保育実践に係る食育の基本と内容についての理解を問うことを基本とする。

問題選択に当たっては、児童の健康な生活の基本としての食生活の意義や栄養の基本的概念や調理の基本、年齢や発達過程における食生活について理解しているかという点のほか、食に係る特別な配慮を有する児童への対応や食を通じた保護者への支援、現代社会における食生活の課題に関しても配慮が必要である。

## 第2 出題範囲

1. 子どもの健康と食生活の意義
  - (1) 子どもの心身の健康と食生活
  - (2) 子どもの食生活の現状と課題
2. 栄養に関する基本的知識
  - (1) 栄養の基本的概念と栄養素の種類と機能
  - (2) 食事摂取基準と献立作成・調理の基本
3. 子どもの発育・発達と食生活
  - (1) 乳児期の授乳・離乳の意義と食生活
  - (2) 幼児期の心身の発達と食生活
  - (3) 学童期の心身の発達と食生活
  - (4) 生涯発達と食生活
4. 食育の基本と内容
  - (1) 保育における食育の意義・目的と基本的考え方
  - (2) 食育の内容と計画及び評価
  - (3) 食育のための環境
  - (4) 地域の関係機関や職員間の連携
  - (5) 食生活指導及び食を通じた保護者への支援
5. 家庭や児童福祉施設における食事と栄養
  - (1) 家庭における食事と栄養
  - (2) 児童福祉施設における食事と栄養
6. 特別な配慮を要する子どもの食と栄養
  - (1) 疾病及び体調不良の子どもへの対応

## 第2 出題範囲

1. 子どもの健康と食生活の意義
  - (1) 子どもの心身の健康と食生活
  - (2) 子どもの食生活の現状と課題
2. 栄養に関する基本的知識
  - (1) 栄養の基本的概念と栄養素の種類と機能
  - (2) 食事摂取基準と献立作成・調理の基本
3. 子どもの発育・発達と食生活
  - (1) 乳児期の授乳・離乳の意義と食生活
  - (2) 幼児期の心身の発達と食生活
  - (3) 学童期の心身の発達と食生活
  - (4) 生涯発達と食生活
4. 食育の基本と内容
  - (1) 食育における養護と教育の一体性
  - (2) 食育の内容と計画及び評価
  - (3) 食育のための環境
  - (4) 地域の関係機関や職員間の連携
  - (5) 食生活指導及び食を通じた保護者への支援
5. 家庭や児童福祉施設における食事と栄養
  - (1) 家庭における食事と栄養
  - (2) 児童福祉施設における食事と栄養
6. 特別な配慮を要する子どもの食と栄養
  - (1) 疾病及び体調不良の子どもへの対応

- (2) 食物アレルギーのある子どもへの対応
- (3) 障害のある子どもへの対応

### 第3 出題上の留意事項

- 1 子どもの食と栄養に関する適切な対応について、保育の実際において必要な事項に関して出題することが望ましい。
- 2 子どもの保健の出題と十分関連をとって出題する。

### 保育実習（保育実習理論及び保育実習実技）

#### 第1 出題の基本方針

保育に関する教科全体の知識・技術を基礎とし、子どもの保育及び保護者への支援について総合的に理解し、実践する応用力を問うことを基本とする。

保育実習理論については、保育所、児童福祉施設の役割や機能について、また、保育士の職業倫理や資質の向上等について具体的に理解しているかという点のほか、保育実践に係る計画と評価や児童福祉施設における子どもの生活と援助活動に関しても配慮が必要である。

- (2) 食物アレルギーのある子どもへの対応
- (3) 障害のある子どもへの対応

### 第3 出題上の留意事項

- 1 児童の食と栄養に関する適切な対応について、保育の実際において必要な事項に関して出題することが望ましい。
- 2 児童の保健の出題と十分関連をとって出題する。

### 保育実習（保育実習理論及び保育実習実技）

#### 第1 出題の基本方針

保育に関する教科全体の知識・技術を基礎とし、子どもの保育及び保護者への支援について総合的に理解し、実践する応用力を問うことを基本とする。

保育実習理論については、保育所、児童福祉施設の役割や機能について、また、保育士の職業倫理について具体的に理解しているかという点のほか、保育実践に係る計画（保育課程・指導計画）と実践（保育内容）及びその評価や児童福祉施設における児童の生活と援助活動に関しても配慮が必要である。

第2 出題範囲

A 保育実習理論

1 保育所における保育

(1) 保育所の役割と機能

① 保育所における子どもの生活と保育士の援助や関わり

② 保育所保育指針に基づく保育の展開

(2) 子どもの理解

① 子どもの観察とその記録による理解

② 子どもの発達過程の理解

③ 子どもへの援助や関わり

(3) 保育内容・保育環境

① 保育の計画に基づく保育内容

② 子どもの発達過程に応じた保育内容

③ 子どもの生活や遊びと保育環境

④ 子どもの健康と安全

(4) 保育の計画・観察・記録

① 全体的な計画と指導計画及び評価の理解

② 記録に基づく省察・自己評価

(5) 専門職としての保育士の役割と職業倫理

① 保育士の業務内容

② 職員間の役割分担や連携・協働

③ 保育士の役割と職業倫理

第2 出題範囲

A 保育実習理論

1 保育所保育

(1) 保育所の役割と機能

(2) 保育課程と指導計画

(3) 保育の内容

① 養護にかかわる保育の内容

② 教育にかかわる保育の内容

(4) 記録と自己評価

(5) 保育士の役割と職業倫理

2 児童福祉施設（保育所以外）

(1) 施設の役割と機能

(2) 児童の生活の実際

(3) 支援計画の作成と実践

(4) 記録と自己評価

(5) 保育士の役割と職業倫理

## 2 児童福祉施設等(保育所以外)における保育内容

### (1) 施設の役割と機能

① 施設における子どもの生活と保育士の援助や関わり

② 施設の役割と機能

### (2) 子どもの理解

① 子どもの観察とその記録

② 個々の状態に応じた援助や関わり

### (3) 施設における子どもの生活と環境

① 計画に基づく活動や援助

② 子どもの心身の状態に応じた生活と対応

③ 子どもの活動と環境

④ 健康管理、安全対策の理解

### (4) 計画と記録

① 支援計画の理解と活用

② 記録に基づく省察・自己評価

### (5) 専門職としての保育士の役割と倫理

① 保育士の業務内容

② 職員間の役割分担や連携

③ 保育士の役割と職業倫理

## 3 保育者論

### (1) 保育者の役割と倫理

<ul style="list-style-type: none"> <li>① <u>役割・職務内容</u></li> <li>② <u>倫理</u></li> <li>(2) <u>保育士の制度的位置付け</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>① <u>児童福祉法における保育士の定義</u></li> <li>② <u>資格・要件</u></li> <li>③ <u>欠格事由、信用失墜行為及び秘密保持義務等</u></li> </ul> </li> <li>(3) <u>保育士の専門性</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>① <u>保育士の資質・能力</u></li> <li>② <u>養護及び教育の一体的展開</u></li> <li>③ <u>家庭との連携と保護者に対する支援</u></li> <li>④ <u>計画に基づく保育の実践と省察・評価</u></li> <li>⑤ <u>保育の質の向上</u></li> </ul> </li> <li>(4) <u>保育者の連携・協働</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>① <u>保育における職員間の連携・協働</u></li> <li>② <u>専門職間及び専門機関との連携・協働</u></li> <li>③ <u>地域における自治体や関係機関等との連携・協働</u></li> </ul> </li> <li>(5) <u>保育者の資質向上とキャリア形成</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>① <u>資質向上に関する組織的取組</u></li> <li>② <u>保育者の専門性の向上とキャリア形成の意義</u></li> <li>③ <u>組織とリーダーシップ</u></li> </ul> </li> </ul> <p>4 <u>保育の計画と評価</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) <u>保育の計画と評価の基本</u></li> </ul>	
---	--



<p>① <u>カリキュラムの基礎理論</u></p> <p>② <u>保育における計画と評価の意義</u></p> <p>③ <u>子どもの理解に基づく保育の過程（計画・実践・記録・省察・評価・改善）の循環による保育の質の向上</u></p> <p>(2) <u>保育所における保育の計画</u></p> <p>① <u>保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の内容及び社会的背景</u></p> <p>② <u>保育所保育指針における保育の目標と計画の基本的考え方</u></p> <p>③ <u>全体的な計画と指導計画の関係性</u></p> <p>④ <u>全体的な計画の作成</u></p> <p>⑤ <u>指導計画（長期的・短期的）の作成</u></p> <p>⑥ <u>指導計画作成上の留意事項</u></p> <p>⑦ <u>計画に基づく保育の柔軟な展開</u></p> <p>(3) <u>保育所における保育の評価</u></p> <p>① <u>保育の記録及び省察</u></p> <p>② <u>保育士及び保育所の自己評価</u></p> <p>③ <u>保育の質向上に向けた改善の取組</u></p> <p>④ <u>生活と発達の連続性を踏まえた保育所児童保育要録</u></p> <p>5 <u>保育内容の理解と方法</u></p> <p><u>子どもの心身の発達や子どもを取り巻く環境等と、保育所保育指針に示される保育の内容を踏まえて、子どもの生活と</u></p>	
--	--

遊びにおける体験（※）と保育の環境を捉えた、以下の知識。

1. 子どもの生活と遊びにおける他者（保育士等や他の子ども）との関係や集団の中での育ちの理解と援助に関わる知識

2. 子どもの生活や遊びにおいてイメージを豊かにし、感性を養うための環境の構成と保育の展開に必要となる知識

3. 子どもの生活と遊びにおける様々な遊具や用具、素材や教材等の特性の理解と、それらの活用や作成に必要となる知識

※子どもの生活と遊びにおける体験の例

①見立てやごっこ遊び、劇遊び、運動遊び等における体験

②身近な自然やものの音や音色、人の声や音楽等に親しむ体験

③身近な自然やものの色や形、感触やイメージ等に親しむ体験

④子ども自らが児童文化財（絵本、紙芝居、人形劇、ストーリーテリング等）に親しむ体験

B 保育実習実技

1 音楽に関する技術  
課題に対する器楽・声楽等

2 造形に関する技術  
課題に対する絵画・制作等

B 保育実習実技

1 音楽表現に関する技術  
課題に対する器楽・声楽等

2 造形表現に関する技術  
課題に対する絵画・制作等

<p>3 言語に関する技術 課題に対する言葉に関する遊びや表現等</p> <p>第3 出題上の留意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 保育に関する知識、技術や受験者の思考力や創意工夫が総合的に把握されやすい内容を選択する。</li> <li>2 <u>子ども</u>の保育の実際において、必要度及び活用度の高い内容を重視する。</li> <li>3 <u>子ども</u>の遊びを豊かに展開するための技術とその応用力についても考慮する。</li> <li>4 保育実習実技の受験者が多い場合、多人数が同一条件のもとに受験できるよう配慮する。</li> </ol>	<p>3 言語表現に関する技術 課題に対する言葉に関する遊びや表現等</p> <p>第3 出題上の留意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 保育に関する知識、技術や受験者の思考力や創意工夫が総合的に把握されやすい内容を選択する。</li> <li>2 児童の保育の実際において、必要度及び活用度の高い内容を重視する。</li> <li>3 児童の遊びを豊かに展開するための技術とその応用力についても考慮する。</li> <li>4 保育実習実技の受講者が多い場合、多人数が同一条件のもとに受験できるよう配慮する。</li> </ol>
--	--